

木下まちかど博物館、まち育て塾 財務報告について

1、2018-4-14 平成29年度まち育て塾の「決算報告」がなされました。

このことについて、監査係を仰せつかった立場から、若干の感想を申し述べます。

平成29年度木下まち育て塾決算報告書		(平成29年4月1日～平成30年3月31日)			
I. 収入					
項目	予算額	決算額	内訳		
会費	66,000	52,000	受取会費 52,000		
町家寄席	80,000	115,000	売上 115,000		
鳳谷五郎展(企画展)	0	0	受け取り参加費 0		
機関誌まち育て便り	10,000	0	売上 0		
蔵カフェ	5,000	700	売上 700		
雛飾り	60,000	64,350	売上 64,350		
絵葉書図録等代	5,000	16,740	売上 16,740		
コスモス畑他整備事業	0	10,000	受取受託費 10,000		
吉岡案内料	0	20,900	受取手数料 20,900		
寄付金	1,191	16,419	雑収入 16,419		
利息	0	8	受取利息 8		
寺子屋吉岡	550,000	241,100	売上 241,100		
寺子屋吉岡受託費	0	256,540	受取受託費 256,540		
その他	0	0	雑収入 0		
前年度繰越金	851,809	851,809	繰越金 851,809		
合計	1,629,000	1,645,566			
II. 支出					
事業別等分類	予算額	決算額	内訳	備考	
寺子屋吉岡	550,000	496,070	印刷費	83,105	
			雑費	70,419	
			支払講師料	85,000	
			消耗品費	22,741	
			通信費	9,750	
			保険料	25,200	
			租税公課	200	
			旅費交通費	161,672	
			備品費	37,983	
			広告費	0	
町家寄席	80,000	104,614	印刷費	4,104	
			通信費	82	
			支払講師料	60,000	
			旅費交通費	3,000	
			会場使用料	10,000	
雛飾り	60,000	71,607	雑費	27,428	
			印刷費	90	
			通信費	4,100	
			雑費	6,294	
蔵カフェ	5,000	812	消耗品費	61,123	
			消耗品費	0	
鳳谷五郎展(企画展)	30,000	300	雑費	812	
			印刷費	300	
蔵・町家めぐり	0	0	消耗品費	0	
			雑費	0	
会議・定期開館・運営費	60,000	78,342	印刷費	55,937	
			雑費	10,634	
			消耗品費	10,239	
			通信費	1,532	HP含まず
コスモス畑整備事業	30,000	10,735	備品費	0	
			消耗品費	10,735	
			燃料費	0	
吉岡蔵電気代	30,000	21,587	光熱費	21,587	
機関誌「まち育てだより」作成	20,000	0		0	
HP	11,000	3,600		3,600	
木下前史資料作成	40,000	0		0	
その他	0	100		100	
修繕積立金29年度分定期預金へ	100,000	100,000		100,000	
予備費	613,000				
合計	1,629,000	887,767		887,767	
収入合計-支出合計		1645566-887767=757799			
III. 次期繰越金				IV. 吉岡まちかど博物館修繕積立金	
項目	金額	項目	内訳(費目)	金額	
前期通帳残高	851,809	修繕積立金累計(5年分)	修繕費	500,000	
次期繰越通帳残高	757,799	スーパ-定期利息	利息	78	
		計		500,078	
以上、平成29年度木下まち育て塾決算を報告します。					
平成		年		月	
会計				印	
監査の結果、諸帳簿の整理等については適切であり、その支出は適正であることを認めます。					
平成		年		月	
監査				印	

上記「報告書」は、会計さんが調製した財務諸表（決算報告書）です。

当該団体の「会計」は、任意団体ですので、従来から引き継がれた「収支会計の様式」により、財務諸表が調製されております。

基本的には、自計された収入・支出伝票等の証憑記録簿（記録簿）から、収入別、支出別、事業別に区分され・仕訳されたデータを、「計算ソフト」を活用し、帳票に展開（計算）されております。

この「帳票のデータ」をベースに収支計算が施され、上記様式の「報告書」（決算書）になったものです。

会計さんは、一般的な「収支会計の帳簿（記録）プロセス」を忠実にたどっており、計算については、計算ソフトの「エクセル」を活用して計算されるなど、一般的な会計に対する知識、理解が施されておりました。

監査係としても、「記録簿」と「証憑書類」の照合など、滋賀さんと読み合わせを行い、不明な点については、会計さんの説明をもとめ、短時間で照合確認することが出来ました。

また、計算の点検についてですが、「エクセルソフトを活用」したとのことでしたので、計算は間違いのないものと、判断させていただきました。

以上により、会計処理は、適切になされたものと判断し、「監査報告」といたしました。

2、この後、総会において、「会計・監査」の報告を行い、報告に係る若干の質疑がなされ、議長（会長）採決により、参加者全員の承認をいただきました。

3、近年、様々な任意活動団体の台頭に伴い、社会的な要請からも「会計のディスクロージャーの方法」（公開）に対して、法に準じた「会計報告への移行」の要請が際立ってきました。

そこで、この際、当該団体としては、どのような「会計報告」をしたらよいか、2つの例を簡単に考察してみました。

1つ目は、「公益法人会計基準」によるものと

2つ目は、民間の一般的な「会社会計」に準じるものです。

4、公益法人会計基準にもとづく報告書について

公益法人は、その**目的的活動の公益性を重要視し、団体の所有する財産の適正な保全と保持と公益活動への活用**を目的にしています。それは「公益法人」と「NPO（非営利一般法人）」です。（平成16年法改正、平成20年法施行）

財務報告書の構成様式は、「正味財産増減計算書明細書」（法；注記）に従い、

会計区分は、活動会計と管理会計の二つの区分（横軸方向）に それぞれの会計ごとに、個々の活動事業区分が表記されます。

資料調査研究事業、蔵・町家保存事業、地域活性化事業、、、、管理事業等の事業区分。さらに、それぞれの事業のもとに、

資料調査研究事業は

寺子屋事業、夏期講座事業、行徳航路乗船事業、木下街道巡見事業

蔵・町家保存事業は、

町家寄席、吊るし雛、企画展、蔵カフェ

地域活性化事業は、

コスモス畑、蔵・町・川めぐり、開館・案内等

管理事業については、会費・寄付受納、例会・会議、資料情報（機関紙、HP、資料作成）、その他、等です。

そして、縦軸方向には、「収益と費用」の表示です、

収益の科目は、受取会費、寄附金、受取参加料、事業収益、受取受託料、受取手数料、売上・雑入、利息、その他

費用の科目は、事業費用と管理費用を区分けし

それぞれの目的費用ごとに、勘定科目が設定されます。

5、平成29年度、まち育て塾の先の決算書を読み替えてみますと、以下の通りです。

平成29年度まち育て塾 経理決算書 (NPO法人)会計に準じた「正味財産増減計算書」(注記)																									
事業区分 勘定科目	活動事業会計										管理事業会計								合計						
	寺子屋巡回	夏期公開講座	行徳航路乗船	木下街道巡見	資料調査研究	蔵・町家保存	町家寄席	吊るし雛	企画展	蔵カフェ	コスモス畑	蔵・町・川めぐり	開館・案内	事業費計	会費・寄附金	例会・会議等	資料・情報	機関紙発行		HP改訂	資料制作	利息	その他(雑)	事業費計	
収益																									
前年度繰越金																						851,809	851,809	851,809	
受取会費														0	52,000								52,000	52,000	
寄附金														0									0	0	
受取参加料														0									0	0	
事業収益														0									0	0	
受取受託料	296,540									10,000				266,540									0	266,540	
受取手数料														0			20,900						20,900	20,900	
受取利息														0									0	0	
売上・雑収入	241,100						115,000	64,350	700					421,150	16,419		16,740				8		33,167	454,317	
収益計	497,640	0	0	0	0	0	115,000	64,350	700	10,000	0	0	667,690	68,419	0	37,640	0	0	0	0	8	851,809	957,876	1,645,566	
費用																									
事業費																									
謝礼金	85,000							60,000						145,000									0	145,000	
旅費・交通費								3,000						3,000									0	3,000	
費用	22,741													94,599		10,239						10,239	104,838		
消耗品								61,123			10,735			71,858									0	71,858	
印刷	83,105							4,104	90	300				87,599		55,937						55,937	143,536		
燃料														0									0	0	
修繕														0									0	0	
他・雑費	70,419							27,428	6,284		812			104,953		10,634						10,634	115,587		
通信・郵便	9,750							82	4,100					13,932		1,532						1,532	15,464		
手数料・使用料								10,000						10,000									0	10,000	
委託・稼働料	25,200													25,200									0	25,200	
備品														0									0	0	
事業費計	296,215	0	0	0	0	0	104,614	71,607	300	812	10,735	0	0	464,283	0	78,342	0	0	0	0	0	0	78,342	562,625	
管理費																									
報償費														0									0	0	
旅費・交通費	161,672													161,672									0	161,672	
費用														0									0	0	
消耗品														0									0	0	
光熱水費														0								21,587	21,587		
燃料														0									0	0	
修繕														0									0	0	
他・雑費														0								100	100	100	
役員・手数料・稼働														0									3,600	3,600	
広告・宣伝														0									0	0	
備品	37,883													37,883									0	37,883	
印刷公費	200													200									0	200	
修繕積立														0								100,000	100,000	100,000	
予備費														0									0	0	
管理費計	199,855	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	199,855	0	0	0	0	0	3,600	0	0	121,687	125,287	325,142
費用合計	496,070	0	0	0	0	0	104,614	71,607	300	812	10,735	0	0	664,138	0	78,342	0	0	3,600	0	0	121,687	203,629	887,767	
正味財産増減(収減)	1,570	0	0	0	0	0	10,386	-7,257	-300	-112	-735	0	0	3,552	68,419	-78,342	37,640	0	-3,600	0	8	730,122	754,247	757,799	

6、この表は、平成29年4月1日～30年3月31日の**期間の数値**で、本来は月単位で集計され、季間、年間積み上げられるものですが、今回は、先の決算書を一期として読み替えたものです。

7、結果として、表から読み取れるのは、活動事業と管理事業の明確な区分の認識が明確で、曖昧であること。

即ち、組織管理の会議等、PR活動、スタッフ人件費用（計上無し）は、管理事業に活動事業は、活動人件費も表記し、純粋に活動目的事業に収斂されるとよいのではないのでしょうか？。

8、今回は、一期読み替えなので、結果として、**事業にマイナス**が表示されておりますが、吊るし雛、企画展、蔵カフェ、コスモス畑、会議、HP改訂は、月ごとの収益振替調整を図り、資金繰りをしなければなりませんね。

将来、資金的な余裕が出来てくれば、それぞれの**人件費計上**も考慮すべきことでしょう。

9、次は、民間の**会社会計**で、**収益性を前提に、資産形成を図ることを目的**とした会計表があります。

合計/残高試算表					貸借対照表(BS) H29/3/31			
借方残高	借方合計	勘定科目	貸方合計	貸方残高	資産	負債	金額	金額
▲ 94,010	793,757	現金	887,767	94,010	現金	▲ 94,010	未払金	0
143,236	143,236	印刷費			積立金	500,078		
21,587	21,587	光熱費			預金等、	296,238	正味財産	702,306
37,983	37,983	備品費				702,306		702,306
115,587	115,587	雑費			正味財産増減計算書(PL) H28/4/1～H29/3/31			
85,000	85,000	支払講師料			費用	金額	収益	金額
0	0	支払出演料			印刷費	74,994	受取会費	52,000
100	100	修繕費			光熱費	22,013	受取受託料	266,540
104,838	104,838	消耗品費			備品費	0	受取手数料	20,900
15,764	15,764	通信費			雑費	166,977	受取参加料	0
200	200	租税公課			支払講師料	35,000	受取利息	8
25,200	25,200	保険料			支払出演料	0	事業収益	437,890
0	0	広告費			修繕費	32,173	雑収入	16,419
0	0	材料費			消耗品費	93,690		収入 793,757
164,672	164,672	旅費交通費			通信費	22,000		
100,000	100,000	積立金			租税公課	0		
3,600	3,600	手数料			保険料	0		
0	0	車代			広告費	10,000		
60,000	60,000	謝礼金			材料費	0		
0	0	燃料費			旅費交通費	27,820		
10,000	10,000	会場使用料			積立金	100,000		
		受取会費	52,000	52,000	手数料	3,600		
		受取受託料	266,540	266,540	車代	3,000		
		受取手数料	20,900	20,900	謝礼金	40,000		
		受取参加料	0	0	燃料費	1,231		
		受取利息	8	8	会場使用料	10,000		
		事業収益	437,890	437,890	正味財産増減	151,259		
		雑収入	16,419	16,419		793,757		793,757
793,757	1,681,524	合計	1,681,524	887,767				
					Ⅲ、次期正味財産繰越金			
					項目		金額	
					正味財産期首残額		851,809	
					次期正味財産期首額		702,306	
					未払、清算費用等		0	
					次期正味財産繰越金		702,306	

この表もまた、先の決算書を一期に読み替えて編成しました。

基本的には当該会計は、収支会計でしたので、前提となる開始の資産認識がないため、

すべて**資産**は、現金・預金です。固定資産の表記はありません。

併せて、**負債**は、ありません。**資産＝負債＝純資産**

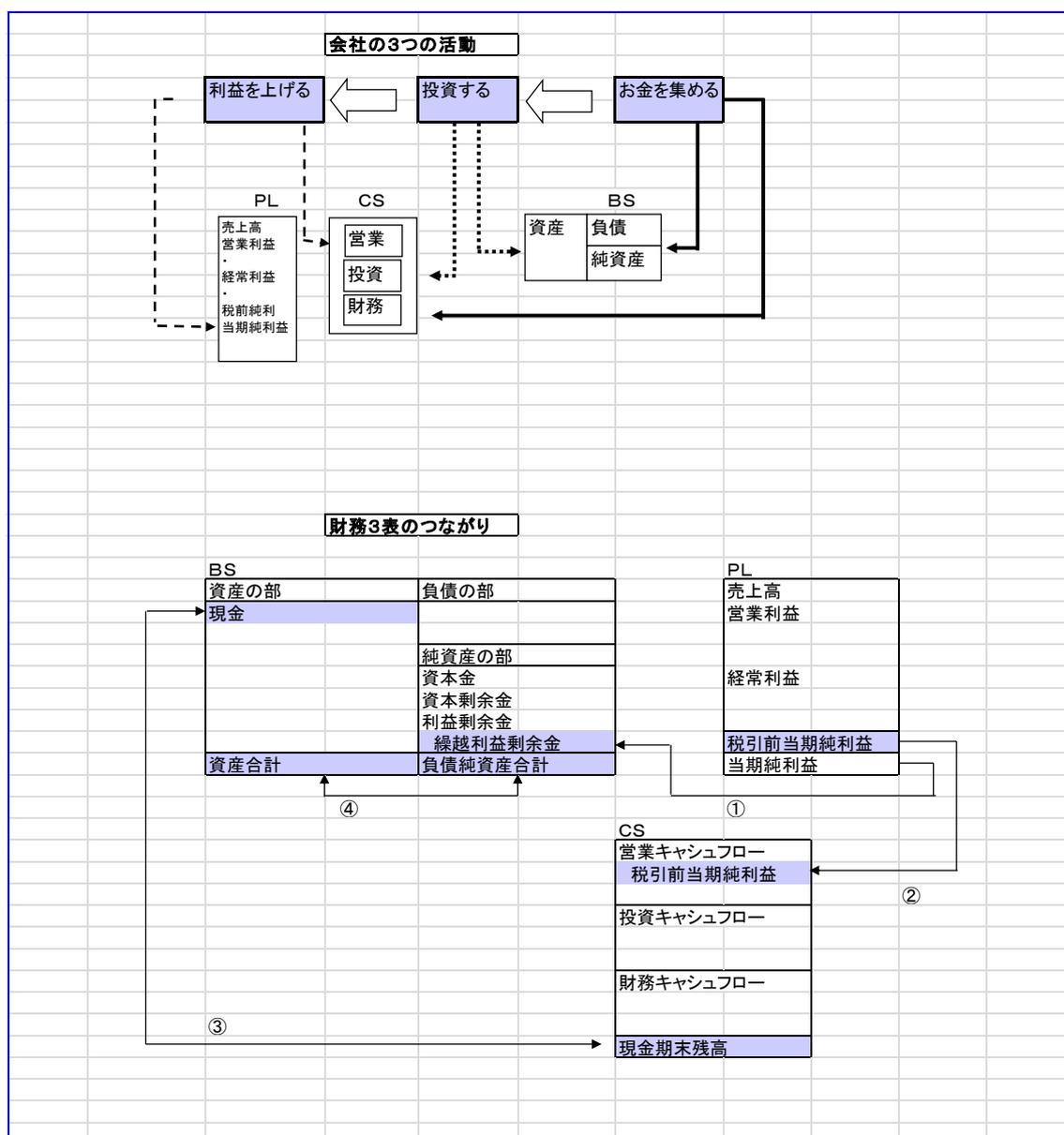
ですので**純資産＝資産**ということになります。

本来であれば、**資産**となるべき蔵建物・敷地の活用（使用契約は？）、備品等、他を正しく計上し、認識すること（貸借対照表）が重要であります。

また、キャッシュフローを表した（損益計算書、キャッシュフロー）を通じて収益性の確保を図っていく必要があります。

たとえば、

会社の3つの活動と財務諸表の関係については、



10、さて、**貸借対照表及び損益計算書**は、一般的に、**取引記録は、複式簿記で記録され、金額は、借方、貸方に仕訳され、**

総勘定元帳 → 合計試算表 →、残高試算表 → 財務諸表（BS貸借対照表・PL損益計算書）に展開されます。

11、今回は、PL損益計算書 → をNW「**正味財産増減計算書**」として調製してみました。

12、財務諸表のデスクロジャー（公開）について、ひとこと。

会計（財務諸表）は、組織の目的活動によって、その組織の経営を的確に表現するツール（鏡）です。

したがって、組織活動が、単に収支均衡を目的とするのか

あるいは、組織の正味財産を安定させ、その活動目的を達成するか

さらに、ある程度の収益性（投資・リターン）を前提に、資産マネジメントを図り、効率的な資産形成に寄与し、組織の発展、持続を確保していくのか、それぞれの「重要な選択」であります。

13、最後に、監査係のお役目として、今回、まち育て塾の決算監査をさせていただきましたが、**会員各位の会計リテラシー**として、会計の知識・技術について、また、会計のアカウンティング・デスクロジャー（説明と開示）について雑駁ですが、コメントさせていただきました。

図表が小さくて見づらいですが、ご容赦ください。図表をピッチングすれば拡大可能です。

若干データに誤差がありそうですが、それぞれの**財務諸表の表現しているシステムをざっくり把握**する役には、立ったものではないかと思われます。

今の時代、組織が時代の要請に十分に対応していく策、計画、戦略を保持しないと、組織の持続性は確保できません。

さらに組織の改革力（イノベーション）、スタッフの戦略的な意識（モチベーション）そして組織の経営マネジメント力を高めていく努力が必要です。

それがたとえボランティア的な活動であったとしても、です。

それが結果として、自らの **成長・発達＝生涯学習** の糧になっていくことを確信し、期待したいと思います。

改めて、「決算報告書」の事業別、科目ごとの分類集計を行ってみました。

事業区分	科目	金額	事業ごと分類集計		
会議・定期開館・運営費	通信費	572	会議・定期開館・運営費	金額	計
会議・定期開館・運営費	消耗品費	310		消耗品費	6892
会議・定期開館・運営費	消耗品費	475		雑費	10634
会議・定期開館・運営費	通信費	960		印刷費	55937
会議・定期開館・運営費	印刷費	11,772		通信費	5132
会議・定期開館・運営費	雑費	2,151			78595
会議・定期開館・運営費	印刷費	912			
会議・定期開館・運営費	印刷費	912			
会議・定期開館・運営費	印刷費	3,980			
会議・定期開館・運営費	印刷費	2,268			
会議・定期開館・運営費	印刷費	30,240			
会議・定期開館・運営費	消耗品費	233			
会議・定期開館・運営費	印刷費	873			
会議・定期開館・運営費	印刷費	4,980			
会議・定期開館・運営費	通信費	3,600			
会議・定期開館・運営費	消耗品費	4,902			
会議・定期開館・運営費	雑費	1,017			
会議・定期開館・運営費	消耗品費	648			
会議・定期開館・運営費	消耗品費	324			
会議・定期開館・運営費	雑費	1,260			
会議・定期開館・運営費	雑費	4,400			
会議・定期開館・運営費	雑費	537			
会議・定期開館・運営費	雑費	108			
会議・定期開館・運営費	雑費	783			
会議・定期開館・運営費	雑費	378			
会議・定期開館・運営費	0	78,595			
蔵カフェ	雑費	812	蔵カフェ	雑費	812
蔵カフェ 集計	0	812			812
コスモス畑整備事業	消耗品	10,735			
コスモス畑整備事業 集計	0	10,735	コスモス	消耗品費	10735
その他	消耗品費	3,347			10735
その他	雑費	100			
その他	印刷費	300	その他	消耗品費	3347
その他 集計	0	3,747		雑費	100
積立金	積立金	100,000		印刷費	300
積立金 集計	0	100,000			3747
町家寄席	印刷費	4,104			
町家寄席	雑費	3,312	町家寄席	旅費交通費	3000
町家寄席	雑費	3,576		支払講師料	60000
町家寄席	支払講師料	40,000		雑費	27428
町家寄席	旅費交通費	3,000		印刷費	4104
町家寄席	雑費	8,000		通信費	82
町家寄席	通信費	82		会場使用料	10000
町家寄席	会場使用料	10,000			104614
町家寄席	雑費	12,000			
町家寄席	支払講師料	10,000			
町家寄席	雑費	324			
町家寄席	雑費	216			
町家寄席	支払講師料	10,000			
町家寄席 集計	0	104,614			
吉岡蔵電気代	光熱費	2,150	蔵電気	光熱費	21587
吉岡蔵電気代	光熱費	1,775			21587
吉岡蔵電気代	光熱費	1,843			
吉岡蔵電気代	光熱費	1,698			
吉岡蔵電気代	光熱費	1,603			
吉岡蔵電気代	光熱費	1,625			
吉岡蔵電気代	光熱費	2,089			
吉岡蔵電気代	光熱費	1,704			
吉岡蔵電気代	光熱費	1,910			
吉岡蔵電気代	光熱費	1,621			
吉岡蔵電気代	光熱費	1,678			
吉岡蔵電気代	光熱費	1,891			
吉岡蔵電気代 集計	0	21,587			
吉岡ひな飾り	雑費	652	ひな飾り	消耗品費	61123
吉岡ひな飾り	消耗品費	14,111		雑費	6294
吉岡ひな飾り	消耗品費	2,129		印刷費	90
吉岡ひな飾り	消耗品費	209		通信費	4100
吉岡ひな飾り	通信費	820			71607
吉岡ひな飾り	消耗品費	3,441			
吉岡ひな飾り	雑費	435			
吉岡ひな飾り	消耗品費	7,886			
吉岡ひな飾り	通信費	820			
吉岡ひな飾り	消耗品費	9,567			

以下、支出簿から事業別、勘定科目ごとの分類集計に基づいた計算結果表です

事業分類集計			
寺子屋	旅費交通費	161672	
	支払講師料	85000	
	消耗品費	22741	
	雑費	70419	
	印刷費	83105	
	通信費	9750	
	保険料	25200	
	備品費	37983	
	租税公課	200	
			496070
町家寄席	旅費交通費	3000	
	支払講師料	60000	
	雑費	27428	
	印刷費	4104	
	通信費	82	
	会場使用料	10000	
			104614
蔵カフェ	雑費	812	
			812
コスモス	消耗品費	10735	
			10735
その他	消耗品費	3347	
	雑費	100	
	印刷費	300	
			3747
会議・会館	消耗品費	6892	
	雑費	10634	
	印刷費	55937	
	通信費	5132	
	役務費		
			78595
ひな飾り	消耗品費	61123	
	雑費	6294	
	印刷費	90	
	通信費	4100	
←役務費科目の表示なし			71607
電気代	光熱費	21587	
←過誤払い雑費100、			21587
←積立金科目の表示なし	HP	役務費	
修繕積立	積立金	100000	
			100000
		887767	887767

2018-4-5 以上。

平成29年度まち育て決算報告書(平成29年4月1日～平成30年3月31日)						
I、収入						
項目	予算額	決算額	内訳	単年度計		
会費	66,000	52,000	受取会費	52,000	52,000	
町屋寄席	80,000	115,000	事業収益	115,000	115,000	
風谷五郎(企画展)	0	0	受取参加料	0	0	
機関紙「まち育てだより」	10,000	0	事業収益	0	0	
蔵カフェ	5,000	700	事業収益	700	700	
雛飾り	60,000	64,350	事業収益	64,350	64,350	
絵葉書、図録等代	5,000	16,740	事業収益	16,740	16,740	
コスモス畑他整備事業	0	10,000	受取受託料	10,000	10,000	
吉岡案内料	0	20,900	受取手数料	20,900	20,900	
寄付金	1,191	16,419	雑収入	16,419	16,419	
利息	0	8	受取利息	8	8	
寺子屋吉岡	550,000	241,100	事業収益	241,100	241,100	
寺子屋吉岡受託料		256,540	受取受託料	256,540	256,540	
その他	0	0	雑収入	0	0	
前年度繰越金	851,809	851,809	繰越金	851,809	851,809	
合計	1,629,000	1,645,566		1,645,566	793,757	
II、支出						
事業別等分類	予算額	決算額	内訳	単年度計		
寺子屋吉岡	550,000	496,070	印刷費	83,105	496,070	
			雑費	70,419		
			支払講師料	85,000		
			消耗品費	22,741		
			通信費	9,750		
			保険料	25,200		
			租税公課	200		
			交通費	161,672		
			備品費	37,983		
			広告費	0		
町屋寄席	80,000	104,614	印刷費	4,104	104,614	
			通信費	82		
			謝礼金	60,000		
			車代	3,000		
			会場使用料	10,000		
			雑費	27,428		
雛飾り	60,000	71,607	印刷費	90	71,607	
			通信費	4,100		
			雑費	6,294		
			消耗品費	61,123		
蔵カフェ	5,000	812	消耗品費	0	812	
			雑費	812		
風谷五郎(企画展)	30,000	300	通信費	300	300	
			消耗品費	0		
			雑費	0		
蔵・町家めぐり	0	0	雑費	0	0	
			保険料	0		
会議・定期会館・運営費	60,000	78,342	印刷費	55,937	78,342	
			雑費	10,634		
			消耗品費	10,239		
			通信費	1,532		
			備品費	0		
コスモス畑整備事業	30,000	10,735	消耗品費	10,735	10,735	
			燃料費	0		
吉岡蔵電気代	30,000	21,587	光熱費	21,587	21,587	
機関紙「まち育てだより」作成	20,000	0	雑費	0	0	
			印刷費	0		
HP改訂	11,000	3,600	手数料	3,600	3,600	
木下前史資料作成	40,000	0	手数料	0	0	
その他	0	100	修繕費	100	100	
修繕積立金	100,000	100,000	積立金	100,000	100,000	
予備費	613,000		予備費			
合計	1,629,000	887,767	合計	887,767	887,767	
年度収支				年度収支		
収入-支出	収入合計	1,645,566	支出合計	887,767	757,799	
III、次期繰越金			IV、吉岡まちかど博物館修繕積立金・前受金費			
項目	金額		項目	内訳(費目)	金額	
前期繰越金	851,809		修繕積立金	過年度累計	500,000	
本年度収支	793,757	887,767 (単年度収入-支出)	利息		78	
		▲ 94,010	累計額		500,078 ←②	
次期繰越金	757,799 ←①					
	→通帳繰越額		①の中に「②修繕積立金」を含む			

資産マネジメント

まち育て塾の貸借対照表です。

収支会計として経理してきた帳簿（27年度 まち育て塾経理簿）を資産マネジメントの観点から調製したものです。データは、27年度を活用しました。

当然ながら資産構成は、流動資産（現金・預金・積立金）を主とした資産構成です。負債は、事業執行したものの費用の支払いが未払になっている。そして、経年積み上がってきた正味財産が667千円ということです。

貸借対照表(BS) H28/3/31			
資産	金額	負債	金額
現金	124,571	未払金	35,000
積立金	300,000		
預金	277,667	正味財産	667,238
	702,238		702,238

平成29年度 BS

貸借対照表(BS) H30/3/31			
資産	金額	負債	金額
現金	▲ 94,010	未払金	0
積立金	500,078		
預金等、	296,238	正味財産	702,306
	702,306		702,306

なぜ、こういう資産表になるのか？

まち育て塾の活動の契機は、木下河岸の旧家吉岡家の朽ち果てた土蔵を歴史的な建造物件として再建し、保存しようと、地域住民や近隣の大学、文化財保全行政、蔵所有者等が協力して、いわゆる手弁当の実働ボランティア活動として組織されたものです。

そして、教育委員会の働きかけにより、市民による「まち育て塾」となり、「吉岡まちかど博物館」として地域に情報を発信するようになりました。平成27年には開館10周年

を迎えております。

このような活動の財務基盤は、住民による「印西市の歴史」学習の活動推進する会員からの会費、行政から活動支援費、「蔵」所有者の施設協力費により、財源の効率運用を図り、「年間活動計画」・「予算」を立て、活動・経理を展開しております。

このような活動を「収支会計」として経理し、収支差の繰越金、修繕積立基金等の財産を保有するに至っております。

このような一般的なボランティア活動の会計・財務活動に対し、近年では、民間の会計や法人会計などと同様に社会貢献的な活動を評価する意味からもあらたに資産マネジメント機能を有する会計へ、すなわち貸借対照表や正味財産増減計算書等の財務諸表を調製するかたちにシフトしてきました。

最後に、地方自治体の「公会計改革研究」に興味があつていろいろと会計資料を読んでいたならば、以下のような書籍を発見しましたので参考書として紹介します。

小さな会社を強くする会計力 山下明宏 著 幻冬舎

ヒット商品でも腕利き営業マンも要らない。

小さな会社に必要なのは社長の「会計力」だ。

経営黒字化のエキスパートが、どうしたら

きっちり儲けて成長を続けられるかを実践的にアドバイス。

若き起業家やベテラン社長だけでなく個人事業主も必読!

(主な内容)

- 損益計算書(P/L)だけ見ていてはダメ
- 貸借対照表(B/S)を見れば経営者の人間力がわかる
- 毎年の利益 800 万円、自己資本比率 50%の会社を目指す
- 帳簿のつけ方を変えるだけで会社は成長する
- 企業の実力を示す決算書は、強力なブランド

「会計とは何か。」「会計で会社を強くするとはどういうことか。」

この部分こそ、人にしかできない領域なのだと気づきました。

「どう伝えるか。」これこそ実務家の真骨頂でなくして何でしょう。

いわゆる会社「会計」をガイダンスしたのですが、会計の基本原則、組織経営の基本原則だろうと思われまふ。

すなわち、きちんとした日々の帳簿記録（複式簿記）→仕訳分類→計算→財務諸表が重要であります。

任意団体、NPO法人、公益法人、政府、地方自治体、会社等、様々な組織には、その組織の目的、存続を維持し、効率的な目標達成する戦略があります。この指標を映し出す鏡になるのがそれぞれの「財務諸表」であります。

それぞれの組織に応じた財務諸表を調製し、関係者へのディスクロージャーを通じて新たな戦略を構築しながら、日常行動を推進していただきたいと思います。